

広報

たし

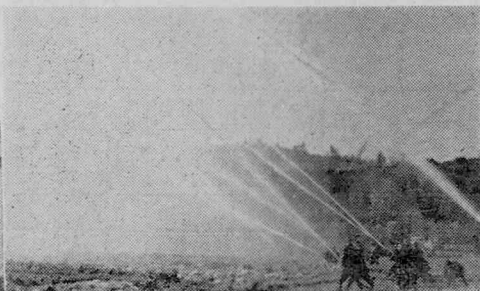
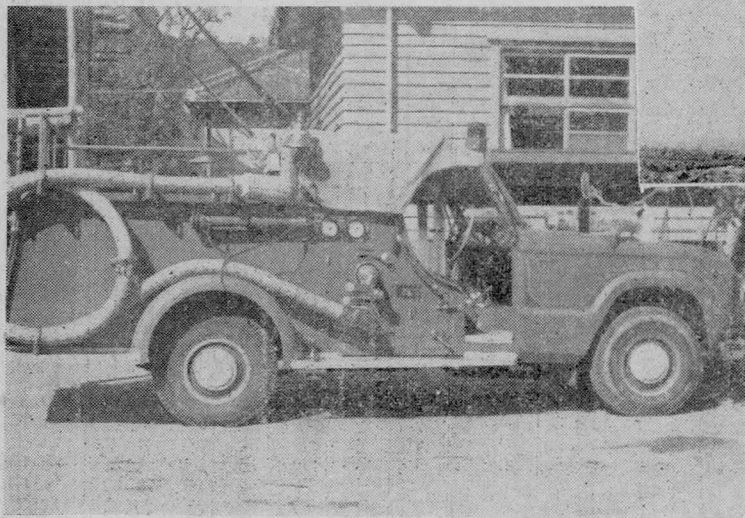
昭和 39 年 11 月 号

人口の動き 9月末日現在の人口 6,794
10月末日現在の人口 6,771
男 3,265人 女 3,506人
前月より 男17人減 女6人減

編集と発行 鹿兒島県肝属郡田代町役場

印刷所 鹿屋市共栄町新生社印刷所

新に購入された消防自動車



備えあれば

玉いなし

当分の間車庫がないため、柴立の田代運送の車庫に庫入させていただいております。

高性能の消防車
川原分団に配置

本年度新しく購入計画されていた消防ポンプ自動車は、去る八月、鹿兒島市の武田ポンプ株式会社と契約していましたが、十月二十九日無事役場前で納車引渡しがあり、同日入魂式が行われました。

この消防ポンプ自動車は、総額一九四万円、うち国から五十万円の補助があり、残額の一四四万円を町負担で川原分団に配置されました。

名称は、ニッサンFR四〇型消防ポンプ自動車

性能は、大型エンジンで、最高時速一一〇キロメートル、最高出力一三〇馬力、ポンプは市原式標準型で放水能力は、毎分二、〇八〇リットル、八立方メートルで、一般家庭の風呂でありますと、一分間に六基分を放水できます。

尚、このポンプの放水量は現在のポンプ類では最高のものでありますので今後の消火作業に大いに働くことでしょう。

お知らせ

九月十五日現在調製の基本選挙人名簿が十一月五日から十一月十四日まで十五日間役場窓口で従前同様です。

十一月のこよみ
および行事予定

一日 狩りよう解禁

二日 学校災害の査定(国)

三日 文化の日

林業災害の査定(国)

四日 民生委員会(於議事堂)

五日 経済振興審議会 町内校長、教頭会(於田代中)

六日 臨時議会

七日 婦人会長会

十二日 水稲ちきまき検討会

十三日 インフルエンザ(感冒)の予防注射(月末まで)

煙草の収納開始

十四日 高等学校独立十周年記念式典(於田代高校)

十七日 社会教育講演会、午前大原、午後田代小

二十三日 勤労感謝の日

二十四日 定例技術委員会

社会教育講演会

一、とき 十一月十七日午

前九時三十分西大原公民館

ところ 午後一時三十分

分 田代小講堂

二、講師 鹿兒島市西本願寺輪番大関先生

(みなさん方多数の来聴をお願いします)

検診は皆んな受けましょう

本年も例年どおり結核検診を実施しましたところ各関係者、各人の協力で次のような成績で検診を終りました。

39年度結核検診部落別成績表

区分	対象人員数	受診者数	受診率	38年度受診率
下	84	76	90.47	76.3
馬場	52	42	80.76	83.3
東ノ原	47	43	91.48	95.6
長谷	94	88	93.61	91.9
西中郡	139	139	100.00	93.4
東中郡	71	66	92.95	84.2
橋ノ口	94	89	94.68	74.3
中村	50	49	98.00	91.6
山下	71	70	98.59	92.5
岩崎				

瀬戸口	74	71	95.94	90.5
猪ヶ倉	115	106	92.17	93.0
鳥淵	51	50	98.03	87.7
早瀬	111	110	99.08	99.0
郷ノ原	85	80	94.11	96.2
辺志切	95	94	98.94	100.00
鶴園	135	120	88.88	93.8
花瀬官行	30	30	100.00	73.3
計	3 179	2 900	91.22	85.60

●対象人員は公務員学生を除いた一五五

先日、肝属の教育者が田代で郷土の研究をする機会があり、古代文化学術調査報告書、考古学紀要に紹介されている岩崎遺跡を現地調査した結果、専門家の説明で、田代町にも学界に存在価値を高く評価されている有名な遺跡があることを知り一同驚嘆しました。また、郷土の文化を探る必要性を痛感しました。

「忘れ去られようとする郷土の文化」を秘めた土地を訪れ、悠久の昔、田代の古代人の生活を想像するとき、愛郷の念で一杯になります。郷土を愛することは、祖先が

ふるさとの土に生きて来た生の中に触れることにより、現代世の中で人生の苦闘に耐える迫力ある人間を育成できると信じます。このような意味で郷土の文化を認識していただくよう急する次第であります。

岩崎縄文古代文化遺跡は、歴史的には、縄文中期、後期（五千一三千年前）の遺跡で、戦後の発掘のときも、人骨やいろいろな形式の土器などの遺物が出土し、岩崎台地に数千年前から人間が住んでいたことを実証してくれました。しかし、近くに堅穴住居の跡もあ

百地上の遺跡は畑地耕作の下にうもれています。この畑の作物の多くは古代人のすみかを知っているかも知れません。先日、畑下の遺物を含む地層から数個の土器の破片が発見されたのは、このことです。

つぎに、江戸時代の庶民のすまの形式を残している家、猪鹿倉、発見され今回紹介されました。平凡なわらわが実証史学者の眼には大変価値あるものとして認められます。永年の探求の獲物が田代の山奥に存在するとは有難いことです。郷土の文化財として保存すべきだと思えます。ほかにかくれに文化財は散在すると思えますので散逸をさけ、近代科学的立場で保存を切望するとともに、田代の文化の背景を解明し、今後の発展を期待したいと思えます。

（大原中 森田教頭）

郷土田代の文化を探る

20号台風災害救助作業始まる

台風二〇号が我が町に残した爪跡は予想外に大きく、家屋や農作物、その他合わせて被害総額は実に一億一千八百万円にも及びました。町当局は、此の悲惨な状況を速時各関係機関に報告し、県や国の救助対策を要請しましたところ我が町にも災害救助法が適用されたのであります。

現在民生課の方で災害救助の業務を進めていますので、その概要をお知らせします。

一、被服、寝具その他生活必需品の給与
これは次の基準です。現物を給与しました。

二、学用品の給与
イ 住家の全壊世帯に対しては、小学生一人当り三二五円以内、中学生一人当り三六〇円以内、住家の半壊世帯に対しては、小学生一人当り一〇五円以内、中学生一人当り一二〇円以内以上の基準によって現物を給与します。

1 被服寝具とその他生活必需品の限度額									
				1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	5人以上1人増すごとに
夏期（四月～九月）	全	壊	被寝	2,200	2,800	4,400	5,300	6,800	1,000
	流	焼	生必	970	1,050	1,140	1,170	1,270	90
	半	失	計	3,170	3,850	5,540	6,470	8,070	1,090
	半	壊	被寝	700	850	950	1,100	1,300	150
冬期（十月～三月）	全	焼	生必	350	380	440	450	530	90
	流	失	計	1,050	1,230	1,390	1,550	1,830	240
	半	壊	被寝	700	850	950	1,100	1,300	150
	半	失	計	3,170	3,850	5,540	6,470	8,070	1,090

三、応急仮設住宅の設置
町内の住家全壊世帯三八戸の内、法の規定によりその三割に当る一一戸の仮設住宅が設置されることになり、既に一一戸の入札も終了工事が進められています。一戸当りの総経費は一五万円となっています。

この基準で、全壊世帯の中にはどうして自力で再建出来ない世帯が相当ありますので基準三割と六割五分に引き上げても

らうように、厚生省に上申中です。これも大体認められそうなる見込みです。

これが認められると本町に二五戸の仮設住宅が設置されるわけですが、

●仮設住宅入居が認められる世帯の基準の優先順位は次の通りです。

1. 生活保護法の被保護者並びに要保護者
2. 特定の資産のない失業者
3. 特定の資産のない未亡人、母子世帯
4. 特定の資産のない老人、病弱者、身体障害者
5. 特定の資産のない勤労者
6. 前各号に準ずる経済的弱者

四、災害にかかった住宅の応急修理
これが適用されるのは半壊以上の住家に限られます。

経費は、一戸当り二万八千円以内で町が県に代って補修してくれるのであつて、現金を支給するものではありません。

町内の半壊家は六五戸で、その三割、二〇戸分の修理をすることになっていましたが、限度引き上げを要求して五割、三三戸分が認められそうです。

●家屋修理の優先順位は仮設住宅の場合と同じです。

以上が民生課が現に進めている業務内容です。

その他住宅資金（罹災者のみ）貸出しの方法等もありますので仮設住宅も修理してもらえな

い世帯で必要の方は直接民生課においで下さい。

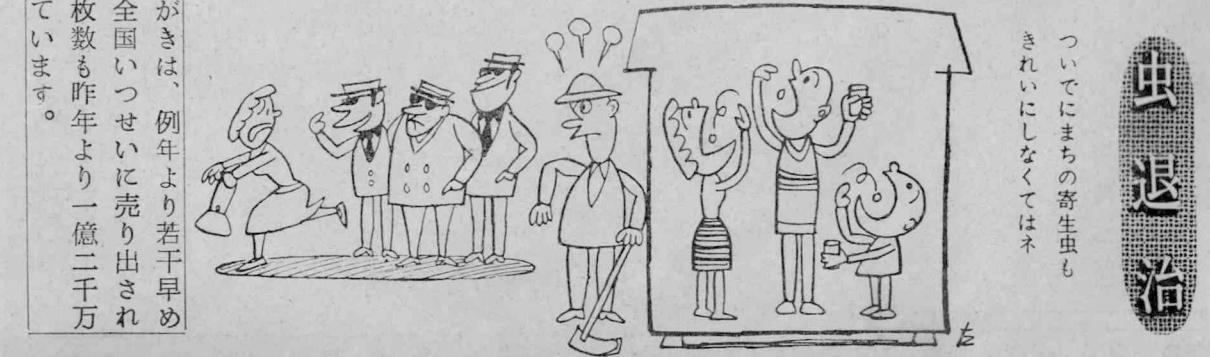
寄生虫予防運動

寄生虫病は、国民の健康および労働力の低下に大きな影響を与えています。

近年、寄生虫卵保有者は、都市の住宅地や工場地区では減少していますが、農村地区ではまだ相当な数にのぼっていますので十一月二十一日から三十日まで「寄生虫予防運動」が行なわれます。

今年の運動の重点は

1. 都市では、回虫根絶対策、ぎょう虫予防対策
2. 農村では、鉤虫対策（特にモデル地区対策の推進）となつていますが、その他、住血吸虫、フィラリア、肝吸虫、肺吸虫などの地方病についての知識の普及と予防対策を行なうことになっていきます。



虫退治

ついでにまちの寄生虫もきれいにしなくてはネ

次の日程により健康審査並びに炭疽予防
注射を実施いたします。

家畜相談所を開設

検 査 日 程 表

- ① 炭疽予防注射*
- ② 一般の健康検査及び割蹄
- ③ 胃腸薬の配布
- ④ 牛の肝蛭検診及び駆虫薬の投薬
- ⑤ 牛の胃内金属等異物検査並に摘出
- ⑥ 妊娠鑑定並に不妊牛診断

((注)) 受検牛は2食絶食して下さい

検査料金

1. 家畜共済加入牛は肝蛭駆除だけ50円
1. 炭疽予防注射料金一頭当り50円
1. 家畜共済未加入牛は、肝蛭検診30円
駆虫料170円 金属異物検査100円
摘出400円、妊娠鑑定300円

日 時	場 所	検査区域	日 時	場 所	検査区域
11月 4日午前 8時～11時	内之牧 公民館	重岳、内之牧	11月10日午後 1時～ 4時	澱粉工場	上原、柴立 上柴立
4日午後 1時～ 4時	新田〃	新田、南風谷	11日午前 8時～11時	辺志切 公民館	辺志切
5日午前 8時～11時	大原支所	東西大原	11日午後 1時～ 4時	平石〃	平石
5日午後 1時～ 4時	〃	中尾、富田	12日午前 8時～11時	鶴園〃	鶴園
6日午前 8時～11時	鵜戸野橋	盤山、久木野 うどの	12日午後 1時～ 4時	表木〃	表木、山ノ口 岩崎 折小野 山下
6日午後 1時～ 4時	花瀬橋	池野、原沢	13日午前 8時～11時	岩崎〃	
9日午前 8時～11時	瀬戸口橋	瀬戸口	13日午後 1時～ 4時	長谷〃	長谷
9日午後 1時～ 4時	猪鹿倉 公民館	猪鹿倉、鳥淵	14日午前 8時～11時	組合	中村、橋ノ口 馬場、中郡、下
10日午前 8時～11時	早瀬 公民館	早瀬、郷ノ原			

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

健康保険税の
第三期分納期です
納期内に必ず
納めましょう

